

令和5年度

「運営に関する計画」

大阪市立諏訪小学校

令和5年4月

大阪市立諏訪小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 現状として、暴力行為やいじめなど生活指導に関することについては概ね目標とするところを達成できているが、不登校に関わる内容については増加傾向にあり、課題となっている。学校が児童の居場所となり、充実した学校生活を送るためにも、児童の規範意識を高め、楽しく学校に登校できることが、子どもが安心して成長できる安全な学校として不可欠である。
- 本校の児童は、大阪市学力経年調査において、5・6年生は大阪市平均を下回っており、4年生は大阪市平均をわずかに上回っている。また、市平均の7割に満たない児童の割合についての前年度の比較においては、5年生は増加し6年生は減少した。また、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点は低下しており、全国平均と比較しても課題は大きい。引き続き運動能力の向上に向けた取り組みを行っていく必要がある。
- 教職員の中で20代の占める割合が高く、育児や介護などの事情を抱えながら働くものも多くいる。教職員の連携を密にすることや研修を充実させることで、効率的に勤務することができるようにしていく必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 児童が安心して学校生活を楽しめるために、校内児童アンケート調査で、「学校に行くのは楽しいですか」の項目について「はい(どちらかといえばはい)」と答える児童の割合を向上させる。【平成31年度：84%→令和2年度：87%→令和3年度：84%→令和4年度：77%】
- 安全意識や規範意識を高めるために、校内児童アンケート調査で、「廊下を走らず右側通行をしていますか。」の項目について「はい(どちらかといえばはい)」と答える児童の割合を向上させる。【平成31年度：83%→令和2年度：90%→令和3年度：90%→令和4年度：87%】
- 不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【平成31年度：1.20→令和2年度：1.80→令和3年度：2.31→令和4年度：2.00】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 学力の底上げをめざし、小学校学力経年調査における市平均の7割に満たない児童の割合を減少させる。【平成31年度：12.6%→令和2年度：9.2%→令和3年度：14.3%→令和4年度：14.4%】
 - 基礎体力及び運動能力の向上を目的に、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を大阪市平均より向上させる。
- 【平成29年度：男子-2.3 女子-3.9 平成30年度：男子-0.7 女子+0.3 平成31年：男子-1.2 女子-0.7 令和2・3年度：一部種目のみ実施 令和4年度：男子-3.8 女子-4.4】

【学びを支える教育環境の充実】

- 教職員の連携を密にすることや研修を充実させることで、効率的に仕事に取り組み、教員の一人当たり平均時間外勤務時間を校種別平均並みにする。

【令和3年度の累計：校種別平均27時間41分 本校平均32時間41分】

- 2 【令和4年度の累計：校種別平均27時間18分 本校平均28時間47分(1月現在)】

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を72%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ①児童が安心して学校生活を楽しめるために、校内児童アンケート調査で、「学校に行くのは楽しいですか」の項目について「はい（どちらかといえばはい）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- ②安全意識や規範意識を高めるために、校内児童アンケート調査で、「廊下を走らず右側通行をしていますか。」の項目について「はい（どちらかといえばはい）」と答える児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を63%以上にする。

学校園の年度目標

- ①学力の底上げをめざし、小学校学力経年調査における市平均の7割に満たない児童の割合を令和4年度：15.4%より減少させる。
- ②基礎体力及び運動能力の向上を目的に、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を大阪市平均並みに向上させる。
- ③規則正しい生活を身に付けている児童の割合（「朝食を毎日食べていますか」「きちんと手を洗うことができていますか」「好き嫌いをせずに残さず食べていますか」の3項目についての肯定的回答率平均）を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- デジタル教材を活用した学習や学習者用端末を活用した家庭学習を定期的実施する。
- 教職員の連携を密にすることや研修を充実させることで、効率的に仕事に取り組み、教員の一人当たり平均時間外勤務時間を昨年度より減少させ、校種別平均並みにする。

【令和4年度の累計：校種別平均27時間18分 本校平均28時間47分（1月現在）】

学校園の年度目標

- ①デジタル教材を活用した学習を週に複数回、学習者用端末を活用した家庭学習を学期に1回以上実施する。
- ②時間外勤務上限基準1（月時間外勤務時間45時間未満かつ年間時間外勤務時間360時間未満）を達成している教職員の割合を前年度以上にする。【令和4年度：52.5%】

大阪市立諏訪小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 72%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>①児童が安心して学校生活を楽しめるために、校内児童アンケート調査で、「学校に行くのは楽しいですか」の項目について「はい（どちらかといえばはい）」と答える児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>②安全意識や規範意識を高めるために、校内児童アンケート調査で、「廊下を走らず右側通行をしていますか。」の項目について「はい（どちらかといえばはい）」と答える児童の割合を 88%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>道徳科の学習や日々の生活の中で、いじめについての指導を行うとともに、教職員間でも、いじめや暴力行為などについても話し合い、早期発見に努める。また、場面に応じて、関係諸機関とも連携したり、ICT を活用したりして、児童や保護者のサポートができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>「いじめについて考える日」に道徳科の学習を行い、日々の生活の中でもいじめは何かがあってもいけないことだと指導していく。</p> <p>月 1 回子どもに「いじめアンケート」を実施する。また、得た結果を学年会や生徒指導部会等で取り上げて情報を記録して共有する。</p> <p>学校が、いじめ防止に取り組んでいることを、学校だより等で啓発する。</p>	
<p>取組内容② 【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>学年や学級での活動を充実させて、仲間づくりを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学年や学級での集会活動や仲間づくりの活動を月 2 回以上行う。</p> <p>2 時間目と 3 時間目の間の休み時間を 20 分にして、学級や縦割り活動などに活用する。</p>	
<p>取組内容③ 【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>友だちのいいところを見つけたり、学校で楽しかったことについて話したりする場を設定する。また、スクールライフノートの活用を進める。</p>	

<p>指標</p> <p>帰りの会等、学級の実態に合わせて、週3回以上取り組む。</p> <p>委員会やクラブ活動の前に帰りの会を実施することで、ていねいに一日の振り返りを行う。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>たてわり班（キッズファミリー）、ペア学年での学習などを活用して異学年交流を充実する。</p>	
<p>指標</p> <p>キッズファミリーやペア学年での学習などの活動を年5回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>道徳科の時間だけでなく、学級活動の時間にきまりを守ることの大切さについて考えあう時間を設ける。</p>	
<p>指標</p> <p>月に1回以上きまりを守ることにについて考えあう時間を設ける。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>廊下や階段に矢印や視覚的に意識づけるポスターを貼り、強調週間を通して児童に安全の意識を高めるように啓発する。</p>	
<p>指標</p> <p>学期に1回ろうかを歩いて右側通行ができるよう、強調週間を設け実践する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
最終評価へ向けての改善点	

(様式2)

大阪市立諏訪小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を63%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>①学力の底上げをめざし、小学校学力経年調査における市平均の7割に満たない児童の割合を令和4年度：15.4%より減少させる。</p> <p>②基礎体力及び運動能力の向上を目的に、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を大阪市平均並みに向上させる。</p> <p>③規則正しい生活を身に付けている児童の割合（「朝食を毎日食べていますか」「きちんと手を洗うことができていますか」「好き嫌いをせずに残さず食べていますか」の3項目についての肯定的回答率平均）を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童の考えを広めたり、深めたりすることをねらいとして、授業で自分の考えを伝え合う活動を取り入れる。授業や単元の終わりに考えを深めたり、広げたりできたかを振り返り、確認できるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童アンケートの「学級の友だちとの話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目で、最も肯定的な「はい」と回答する児童の割合を40%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学習内容の基礎・基本の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>国語科と算数科の基礎・基本を定着させるため、火曜日の朝に学習タイム、水曜</p>	

日の朝に読書タイムを実施する。	
<p>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>体育の学習時や休み時間に「投げる」「跳ぶ」「走る」などの基本動作を身につけさせる活動を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>低学年はソフトボール投げ、中学年は立ち幅跳び、高学年は50m走の記録を5月と11月に実施する。11月が5月の記録より低学年+10%、中学年+5%、高学年+2%上回るようにする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>こまめな手洗いをする習慣をつける。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回（6月・11月・2月）手洗いがんばり週間を実施する。 ・学校保健委員会の開催やポスターの掲示。 ・月1回発行の「保健だより」を活用して、手洗いをしようとする児童の意欲を高める。 ・毎週金曜日、各学級で清潔調べをし、健康に対する意識を高め、手洗いの習慣を身に付けさせる。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</p> <p>心身ともに健康ですぐすために、児童の食への関心を高める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導や月1回発行の「給食だより」等を活用して、食への興味関心を高める。 ・5月と1月に残食率を調べる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
最終評価へ向けての改善点	

(様式 2)

大阪市立諏訪小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○デジタル教材を活用した学習や学習者用端末を活用した家庭学習を定期的 to 実施する。</p> <p>○教職員の連携を密にすることや研修を充実させることで、効率的に仕事に取り組み、教員の一人当たり平均時間外勤務時間を昨年度より減少させ、校種別平均並みにする。</p> <p>【令和 4 年度の累計:校種別平均 27 時間 18 分 本校平均 28 時間 47 分(1 月現在)】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>①デジタル教材を活用した学習を週に複数回、学習者用端末を活用した家庭学習を学期に 1 回以上実施する。</p> <p>②時間外勤務上限基準 1 (月時間外勤務時間 45 時間未満かつ年間時間外勤務時間 360 時間未満)を達成している教職員の割合を前年度以上にする。【令和 4 年度:52.5%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>デジタル教材を活用した学習や学習者用端末を活用した家庭学習を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>デジタル教材を週に 3 回以上活用する。また、学習者用端末を活用した家庭学習を学期に 1 回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の時間外勤務を減少させるような工夫を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>週に 1 回、ゆとりの日を設定する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
最終評価へ向けての改善点	